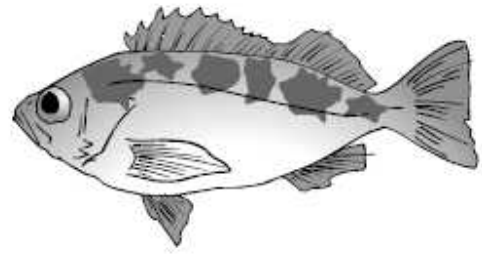


ウスメバル

日本海海域

Sebastes thompsoni

地方名
てんから（小泊）、つき、
てり（岩崎）



生態

寿命：10歳以上
 成熟：3歳（尾叉長18cm）以上
 産卵期、産卵場：卵胎生。12月ごろ交尾し翌年4月から5月にかけて産仔。
 分布：日本海では石狩湾から対馬海峡まで、太平洋では函館から銚子まで分布。
 生態：体長6～7mmで産出。体長約16mmまで表層で浮遊生活。体長40～60mmまでを流れ藻に付随して生活。その後ごく沿岸で底生生活を送るようになり、成長と共に沖合に移動。3歳魚以上になると80～150mの岩礁域に生息。

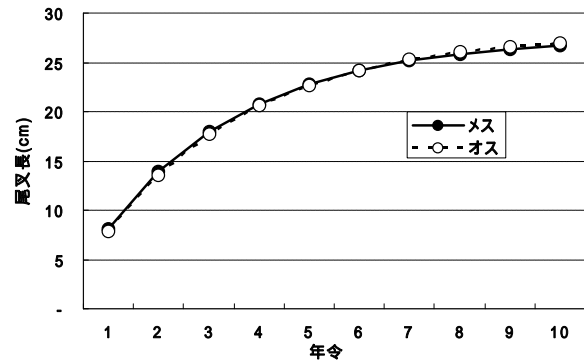


図 青森県日本海海域におけるウスメバルの成長

主な漁業

青森県日本海側では6月から8月に刺網で漁獲。一本釣では周年漁獲されるが、盛漁期は5月～8月。主に水深80～150mで漁獲される。日本海以外の海域では、釣りによる漁獲がほとんどであるが、本県太平洋北部では5月～6月に底建網により漁獲される。

資源評価

青森県日本海での漁獲量は昭和50年代前半には600～1,000トンの漁獲があったが、昭和55年以降減少し、昭和63年には最低の172トンにまで落ち込んだ。その後、平成9年には498トンまで回復したが、再び減少傾向にあり、平成19年は256トンであった。

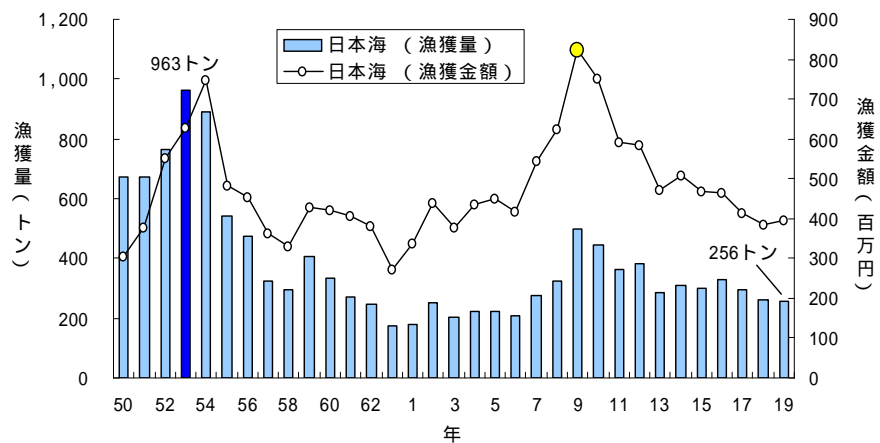


図 青森県日本海海域におけるウスメバルの漁獲量及び漁獲金額の推移



資源を上手に利用するために

- 資源管理計画（小泊漁協、下前漁協 平成5年3月）
- 青森県ウスメバル資源回復計画（大間越漁協～岩屋漁協 平成19年3月、29ページ参照）
- ・小型魚の荷受け制限、休漁日の設定（日本海のみ）を定めた。
- 上記のように小型魚漁獲を自粛する取り組みを継続することが必要。